

大人が絵本を 第99回 絵本でSDGs



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事フアウンダー

図書館が攻撃された！

昨年10月15日、本連載98回原稿を編集部に入稿しているとき飛び込んできたネットニュースに、息をのみました。「那覇市の図書館・室、貸出不能にランサム攻撃で障害／沖縄」。¹⁾

那覇市の図書館システムが身代金要求型ウイルス「ランサムウェア」によるサイバー攻撃を受け、市立図書館全8施設で13日から障害が発生し、計約37万冊の本の貸し出しや予約ができない状況との報道は、図書館員として恐怖でしかありませんでした。図書館が暮らしに密着した、人間の頭脳部となる公共施設だと考えたことがあるでしょうか。

1954年に採択された「図書館の自由に関する宣言」の主文では、「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設提供することを、もっとも重要な任務とする」と明文化されています²⁾。すなわち、日本国憲法で保障されている「表現の自由」と表裏一体にある権利「知る自由」を保障する機関が図書館なのです。その図書館が攻撃されたのです。

民主主義を実現するために重要な役割を果たし、私たちの人権を下支えしている図書館をサイバー攻撃したものを許すわけにはいきません。誰でも気軽に訪れることができ、プライバシーが守られたうえで古往今来、人間の知的生産物に自由に触れることができる図書館の使命を果たし続けなければならないのです。

「社会的記憶の機関」であり、「知識や情報の伝播を円滑にするコミュニケーションの媒介機関」である図書館は、インターネットのない時代における役割は大きなものでした。そして情報のデジタル化が進んだ今日においても、国連が定めた「持続可能な開発目標

(SDGs)」達成に向けて、情報提供機関として重要な責務を担う機関として存在意義が高まっているのです。

図書館はますます重要なポジションに！

SDGsをわかりやすく説明した絵本『わたしがわかる みらいもかわる』の作者で、外務省でSDGs企画・立案を担った原 琴乃氏は、SDGsを「未来ビジョン」と表現しています³⁾。国際社会全体で、2030年までにどんな未来をつくっていききたいか、それを「17の目標」にまとめたSDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」では、ターゲットに「情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する」とあります。図書館と密接に関わるものです。

『わたしがわかる みらいもかわる
- SDGs はじめのいっぽ』
原 琴乃 作
MAKO オケスタジオ 絵
山田基靖 監修(汐文社)



SDGs策定プロセスの段階から関与してきたIFLA(国際図書館連盟)は、『図書館と持続可能な開発目標：ストーリーテリングマニュアル』(未訳)で、17の目標別に図書館の貢献例を示しています。塩崎亮氏の訳によると、a) (各種の専門) 情報やデータの提供 (ICT環境の提供含む)、b) 利活用促進 (情報リテラシー教育含む)、c) 保存 (文化遺産の保護を含む) とされています⁴⁾。すなわち、誰もがいつでも、どこからでも、それらにアクセスできなければならないということです。

世界的に図書館の重要性が増している今、持続可能な施設として整備し、SDGsに対応した職員のスキルアップに努めるときなのです。すべての国民の頭脳となる図書館を守るのは、図書館員を筆頭とする国民です。

手にするときは！

絵本はSDGs

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

このすばらしきツール「絵本」

SDGsの17の目標は、みなさまも既に周知のとおりです。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等」…、あることに気づきませんか。

Sustainable Development Goalsの達成に向けて、大きな役割を果たすのは「絵本」なのです。昔話に、現代のお話、未来の創作物語、それから、食べものや乗りもの、水の生きもの、山や森のお話、さまざまな国のお話、戦争と平和、どれをとっても、ほとんどのテーマを絵本は取り扱っています。つまり、絵本そのものが多様性であって、SDGsの普及を担う絶好の情報源というわけです。しかも、年齢を問わず、0歳の赤ちゃんから、100歳の方までが楽しめる、多様性を受け入れたツールなのです。

では、「多様性」を子どもたちに、どのように説明したらよいでしょうか。言葉で説明することが難しくても、絵本に助けを求めると、簡単に解決できるのです。

『みんな おなじ でも みんな ちがう』の表紙に並べられたたくさんの貝ですが、同じ「貝」なのに、同じ模様、同じ形のものはありません。動植物14例が

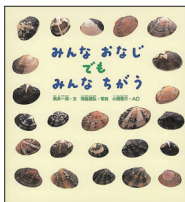
同じ種(しゅ)でも、それぞれの個体がいかに違うかを教えてくれます。「人間だって、そうだよね～」と感じられるのです。多様性ということ、絵とことばによって理解を促すことができるのです。人間でみていくなら、『せかいのひとびと』でしょう。

つながりあっているということ

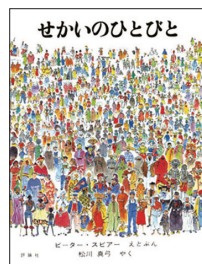
先の原 琴乃氏は、SDGsで大事な4つのキーワードを示しています。ひとつは「目標がつながりあっている」ということで、ある問題に対する行動が他の問題に波及していて、「つながることによる共創」が大事だと説きます。具体的には、「目標4『質の高い教育をみんなに』が進むと、目標5『ジェンダー平等を実現しよう』にも良い影響があるし、これらの問題が改善されれば、目標10『人や国の不平等をなくそう』も同時に進展するはずです」と導くのです³⁾。すなわち、17の目標のうち、自分が大切だと思う問題にひとつ取り組めば、それは他の目標につながっているというわけです。このつながりに気づかなければ、現実問題を本当に理解しているとは言えないということでしょう。

世界のつながり、生きものつながり、いのちのつながりという壮大なテーマをもつ絵本をご紹介します。地球上のたくさんの生き物たちが、春の訪れとともに豊穡となった北極をめざす『北をめざしてー動物たちの大旅行』(福音館書店)です。

ところが、現実には「人間が石炭や石油を大量に使うことで出る二酸化炭素などによって、地球の温暖化が進み、地球の平均気温は高くなり続け、それに伴い、北極の海氷の面積も減っている」のです⁵⁾。折しも昨年10月27日、国連環境計画は「各国政府の温室効果ガス削減目標が達成されても、地球の平均気温は今世紀中に2.8度上昇するとの見込みを示した」のです⁶⁾。



『みんな おなじ
でも みんな ちがう』
奥井一滴 文 得能通弘 写真
小西啓介 AD
(福音館書店)



『せかいのひとびと』
ピーター・スピア 絵と文
松川真弓 訳
(福音館書店)



それは、絵本『北をめざして』がテーマとしている問題そのものです。地球上の生態系がもつ限りないつながりは、私たち人間が引き起こす問題を地球全体に拡げているということです。人間は生きていけるのかという大問題にまで発展するのです。

「逆算の発想」、できていますか？

SDGsのキーワード2つ目を「逆算の発想」として、2030年までに目標を達成するためには、今どんな行動が必要か、それを考えるうえで大切なのがキーワード3つ目の「自分ごと化」と、原氏は一気に問うてくるのです³⁾。自分のこととして捉え、自分に何ができるか、何をしなければならないか、個人の意識の問題だと訴えるものです。

世界の紛争地や辺境の地を撮影するフォトジャーナリストの長倉洋海氏が、アリス館より発行している写真絵本シリーズ全5巻『いのる』『はたらく』『まなぶ』『つながる』『さがす』は、現実をみつめ自分ごととして意識化するのにも、SDGs全体を相関的に捉えるにも、格好のテキストです。



『いのる』
長倉洋海 著



『はたらく』
長倉洋海 著
(アリス館)



『つながる』
長倉洋海 著



第1作『いのる』では、今も戦っている国と国、内戦の国、人種や宗教を超えて、いろんな国の、さまざまな人々の「いのる」ことの根本を見つめていきます。

『はたらく』のテーマは、貧困や児童労働ばかりではありません。「はたらく子どもたちは、『自分だけでなく、だれかの役にたっている』という誇りを持っている」と長倉氏は言います⁷⁾。その誇りと、責任感のある子どもたちの生き生きとした姿を伝えているの

です。表紙の子どもたちのはじけるような笑顔で、それが伝わってくるのです。家族の一員としてお互いに助け合っているから、強い絆で結ばれていることがわかるのです。日本の家族の絆とは、また別ものでしょう。

生きるためにつながり、つながるために学ぶ

「生きるためにつながり、つながるために学び、探すために祈る。生きるということは円のようにぐるぐる回っているものだと思う」と長倉氏は述べています⁸⁾。

アフガニスタンやカンボジアの子どもたちの「まなぶ」場所は、砂漠、湖の上、草原です。日本人が「自分ごと化」するには難しいかもしれません。でも、世界の貧しい国の子どもたちの学ぶ場所は学校だけで、家に帰れば過酷な仕事が残っているけれど、学校に行けることがうれしいし、学ぶことが楽しくて幸せという気持ちを「自分ごと化」できれば、自分が何をしなければならないか考えられるでしょう。そのような国の子どもたちは、学ぶことで、家族と、社会と、世界とつながりが深くなっているのだと感じられるのです。

本シリーズをぐるぐる読むと、「自分と関わりのない遠いところ」のお話ではなく、つながりあっている現実突き動かされる動機付けがあるのです。

たいせつな気づき、再発見！

原氏の示す4つ目のキーワードは「再発見」で、SDGsの目標の多くは、日本に古くから根付いている価値観や、日本が誇る技術に関係していると指摘しています。「日本に創業100年、200年の長寿企業が世界一多いのは、企業が持続するには自らの利益だけを追求してはいけないと、認識していたからではないでしょうか」とした説明に至極、納得できるのです³⁾。確かにSDGsという言葉こそ新しい言葉で、構えがちだけれど、「持続可能」という観点から捉えると、日本の文化、価値観、いわば日本人気質に類似する点



があるようです。逆に捉えると、文化、テクノロジーの発展によって日本人が失ってしまった大切なことがたくさんあるということではないでしょうか。SDGsによって、ものが豊かではなかった時代を社会的記憶媒体である文献で紐解き、より良い未来をつくるための行動に変え、生活を改め直すということのように思います。

2021年に日本語版が出版された、『たいせつな気づき 新型コロナウイルスをのりこえた未来の物語』(創元社)は、タイトルが示す通り、再発見のお話です。コロナを乗り越えた未来の世界で、「あの頃」を昔語りにするのですが、豊かさや便利さ、快樂の裏で自然破壊が進み、人間同士が希薄になっていった世界を、コロナによって気づかされるのです。ドキッとします。私たちは、コロナウイルスにたくさんの日常を奪われましたが、与えられた大切な気づきがあったのです。

流れのままに流されず、自力で立ち止まって振り返り、思考するという行為を継続することもまた、SDGsにつながっているのだと思います。

ビブリオでSDGs

2022年に開館10周年を迎えたビブリオキッズでは、創館月の6月から「図鑑の日」の10月22日翌週まで、連続した企画を催しました。その名も、「ビブリオ ペンギン水族館展」です。コロナで会員が一堂に集えるイベントはまだできていませんが、お家で、家族・きょうだいでアイデアを出し合い、協力し合って「水族館」を制作し、「みんなの水族館」を展示して、互いに観覧しあうという、心でつながりあった企画です。

作り方手順書は、みなさんに同一のマニュアルを配布し、工作用品も、ビーズや貝がら、折り紙と同じものを渡したのですが、完成した50作品に似たような水族館はなく、独創性あふれるアートが集結したのです。どれも傑作なのですが、小学5年生のSちゃんの「アルバ水族館」は、SDGsの視点から拍手



Sちゃん制作の「アルバ水族館」

『アルバ うつくしいうみをまもった100さいのさかな』
ララ・ホーソン作・絵 新沢としひこ訳
(教育画劇)



喝采でした。

生後9か月からビブリオ会員のSちゃんは、『アルバ うつくしいうみをまもった100さいのさかな』を読んで感じたことを読書感想画に表現したのだそうです。そして、ビブリオの企画にも、Sちゃんの心に深く響いたアルバの物語を創造したのです。物語でアルバを助けた女の子は、Sちゃんでしかありません。

小児歯科でもSDGs

図書館は、情報提供機関として重要な任務を果たす機関です。親子ライブラリーであるビブリオは、小さな子どもから、その祖父母や曾祖父母の世代にまで家族が共有できる情報を提供しなければなりません。それは、地域に根付いた小児歯科も同じではないでしょうか。



文献

- 1) 毎日新聞社：那覇市の図書館・室、貸出不能に ランサム攻撃で障害／沖縄, 毎日新聞WEB <https://mainichi.jp> 2022/10/15
- 2) 日本図書館協会：図書館講習資料 4訂版, 日本図書館協会, 東京, pp.155-157, 1979.
- 3) 原 琴乃：SDGsを知ろう!, 別冊太陽(301), pp.6-11, 2022.
- 4) 塩崎 亮：国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)と図書館, 聖学院大学総合研究所 NEWSLETTER 28(2), pp.28-33, 2018.
- 5) ニック・ドーソン 作, パトリック・ベンソン 絵, 井田徹治 訳：北をめざして, 福音館書店, 東京, p.52-53, 2016.
- 6) ロイター：気候変動、現行目標達成でも2.8度上昇 根本的変革必要＝国連, REUTERS HP <https://jp.reuters.com> 2022/10/27
- 7) 長倉洋海：はたらく, アリス館, 東京, p.3, 2017.
- 8) 朝日新聞社：長倉洋海さんの写真絵本シリーズ最終巻 タイトル「さがす」にこめた思い, The Asahi Shimbun GLOBE+ HP <http://globe.asahi.com> 2020/5/27